

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8 (第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年6月28日

(宛先) 長野市長 殿

提出者

住所 長野県長野市安茂里883

氏名 マルコメ株式会社

代表取締役社長 青木 時男

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-226-0255

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	マルコメ株式会社 本社
事業場の所在地	長野県長野市安茂里883
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	味噌製造業
② 事業の規模	売上高 50,420百万円
③ 従業員数	475
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	【汚泥】 ・脱水汚泥 コンポスト化→農地還元 ・充填汚泥 セメント固化→リサイクル 【廃プラ】・包装資材① 圧縮→プラ原料 ・包装資材② 焼却→残渣→埋立 ・インスト類 焼却→残渣→埋立 ・ゴム、硬質プラ 破碎→埋立 ・軟質プラ 再生リサイクル 【動植物性残渣】・廃棄味噌① 焼却→熱回収→埋立 ・廃棄味噌② 焼却→残渣→工業塩・路盤材 ・豆皮① 焼却→残渣→埋立 ・豆皮② 乾燥→飼料化 ・米粉 焼却→残渣→埋立 【ガラス・陶磁器くず】・蛍光管 分別(ガラス、鉛等に分類後リサイクル) ・ガラスくず 破碎→埋立 【金属くず】 ・鉄くず 切断→リサイクル 【木くず】 ・木くず 焼却→残渣→埋立 【がれき】 ・重石 破碎→埋立 【紙くず】 ・紙くず 焼却→残渣→埋立 【廃油】 ・廃油 油水分離→工業用燃料

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

生産本部 常務取締役
↓
【廃棄物担当者】 生産サポート本部 生産サポート部 環境課
↓
事業サポート本部 生産サポート本部 生産本部 研究開発本部

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず
排出量	10,947.30t	595.87t	709.66t	0.98t	102.11t	2.55t
産業廃棄物の種類	廃油					
排出量	0.63t					
(これまでに実施した取組) メタン発酵への廃棄味噌投入量を増量し、廃棄物量を削減した。 廃棄物の有価物化を図り、廃棄物量を削減する。 用途限定米穀の用途外使用承認申請を行い、焼却処分としていた用途限定米穀を飼料へ転用した。						
【目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	木くず
排出量	10,800.00t	590.00t	700.00t	0.95t	100.00t	2.30t
産業廃棄物の種類	廃油	0	0	0	0	0
排出量	0.63t					
(今後実施する予定の取組) メタン発酵への廃棄味噌投入量を維持、傾向監視を行い、可能であればさらに増量する。 廃棄物の有価物化を図り、廃棄物量を削減する。 用途限定米穀の用途外使用承認申請を継続する。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック(焼却処分)として排出している余剰資材が段ボールに梱包されており、手間がかかるため解体せずに焼却処分としているが、可能な限り解体し、段ボールは資源ゴミとして排出する。 製品廃棄物を解体し、飼料用として再利用する。 用途限定米穀の用途外使用申請を行い、飼料として再利用する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 焼却処分している製品を分別し、メタン発酵処理へ変更が可能か検討する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器く	金属くず	木くず
①現状	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	廃油	0	0	0	0	0
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
【目標】		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器く	金属くず	木くず
②計画	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	廃油	0	0	0	0	0
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器く	金属くず	木くず
①現状	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	8,445.84t					
	産業廃棄物の種類	廃油	0	0	0	0	0
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組) 排水処理施設の安定的な維持管理を行う。							
【目標】		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器く	金属くず	木くず
②計画	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	8,350.00t					
	産業廃棄物の種類	廃油	0	0	0	0	0
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 使用する薬品の選定、濃度、添加量を適正化し、含水率向上を図る。							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	金属くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	廃油	0	0	0	0	0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	金属くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	廃油	0	0	0	0	0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	金属くず	木くず
	全処理委託量	2,501.46t	595.87t	709.66t	0.98t	102.11t	2.55t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,747.63t	595.87t	658.71t	0.98t	102.11t	2.55t
	再生利用業者への処理委託量	2,202.57t	41.61t	177.59t	0.16t	102.11t	
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			510.21t			
	産業廃棄物の種類	廃油	0	0	0	0	0
	全処理委託量	0.63t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	0.63t					
	認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
(これまでに実施した取組)							
再生利用を原則として業者選定を行い、適切な処分を行う。 廃棄物の分別強化及び処分方法の見直しを行い、再生利用率の向上を図った。 廃棄物の有価物化を図った。							

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	金属くず	木くず
全処理委託量	2,450.00t	590.00t	700.00t	0.95t	100.00t	2.30t
優良認定処理業者への処理委託量	600.00t	590.00t	660.00t	0.95t	100.00t	2.30t
再生利用業者への処理委託量	2,100.00t	50.00t	170.00t	0.15t	100.00t	
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	廃油	0	0	0	0	0
全処理委託量	0.63t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	0.63t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

②計画

(今後実施する予定の取組)
 処分業者の再選定を行い、再生利用率の向上を目指す。

※事務処理欄

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類 (実績値・計画値)											合 計		
		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチ)	動植物性残さ	ガラス・コンクリート・陶磁器く	金属くず	木くず	廃油	0	0	0	0		0	
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	10,947.30t	595.87t	709.66t	0.98t	102.11t	2.55t	0.63t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	12,359.10t	
	本年度排出量(計画)	10,800.00t	590.00t	700.00t	0.95t	100.00t	2.30t	0.63t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	12,193.88t	
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績	8,445.84t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	8,445.84t
		本年度計画(目標)	8,350.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	8,350.00t
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	2,501.46t	595.87t	709.66t	0.98t	102.11t	2.55t	0.63t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	3,913.26t
		本年度計画(目標)	2,450.00t	590.00t	700.00t	0.95t	100.00t	2.30t	0.63t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	3,843.88t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	1,747.63t	595.87t	658.71t	0.98t	102.11t	2.55t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	3,107.85t
		本年度計画(目標)	600.00t	590.00t	660.00t	0.95t	100.00t	2.30t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,953.25t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	2,202.57t	41.61t	177.59t	0.16t	102.11t	0.00t	0.63t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	2,524.67t
		本年度計画(目標)	2,100.00t	50.00t	170.00t	0.15t	100.00t	0.00t	0.63t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	2,420.78t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	510.21t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	510.21t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。